

平成 27 年度企画提案型協働事業（第 2 次審査） 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業 提案に関する委員会付帯意見

- 1 市民に憩いの場を提供する優れた取り組みが今後も継続できるよう、新たな事業展開について市と検討を進めてください。
- 2 維持管理の方法について、必要経費の見直しも含め一層の改善に努めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

実績の評価

- ・大変おつかれ様です。今後とも、市発展の為、がんばっていただければと思います。
- ・ひょうたん島広場は四季を通した花畑作りやイベント等により、年々、住民の関心が高まり、又年を追うごとに訪れる人々が増えていると思う。
- ・皆さんの努力のおかげで、気持の良い水辺として利用させて頂いています。これからも憩いの場として活用できる様頑張ってください。
- ・NPOが整備し育てている広場であり立派な事業だと思います。植栽、花のデザインに市内のアーティストの協力を取り入れると独創的でオシャレな広場になります。
- ・地域や市民のニーズが高い事業であり、7年継続が問題になっているとは思いますが、協働事業として妥当であると判断する。
- ・地域の憩いの場として、今後も地域の活性化につながる事業と考えられるので、是非がんばってください。

現状の更なる分析

- ・市の役割分担は、経費負担のみのように思えるが、協働事業としての新たな展開に期待したい。
- ・提案内容、花畑の整備、草刈、ごみ清掃となっているが、それ以外の提案はないのか。
- ・事業は継続可能なものなのか。調整池自体の存続性はどうか。
- ・イベント参加者の人数と参加推移は。
- ・誰れの為の環境保全なのか。地域エゴにはなっていないか。

未来への展望

- ・協働事業として内容的には問題はない。しかし長年にわたり継続されており、企画提案型協働事業として毎年審査してゆくしくみにはやや疑問を感じる。長期的な対応について市と継続的に協議し新たな対応を検討して頂きたい。
- ・每期、每期、調整池と周辺の定期的草刈、花畑の整備、排水口のごみの除去等同じ維持管理を続け、毎期のコストも膨大である。アスファルトの通り路をつくるとか、翌年の草刈り面積（今は1万㎡強もある）を減らすとかして、次期以降の協働事業の夢がたとえ少しでも欲しいと思う。
- ・ドラスティックなコスト削減策はないか？
- ・課題解決に向けて具体的な方策を考えてみて下さい。（どこまでやれば良いのかも含めて）
- ・環境教育的な展開が伴わないと、今後協働する価値が維持できないのではないかと。

企画提案型協働事業 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業 平成 27 年度第 3 次審査 委員会総合意見

- 1 景観保全によるまちづくりに貢献している素晴らしい事業です。市民の憩いの場を継続的に維持する取り組みに期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

継続に期待

- ・市民の憩いの場として定着していると思いますので、市との協働を一層強化して継続して欲しいと思います。
- ・イベントにボランティアを活用したり、楽しんでもらうため自主的に参加者に動いてもらうことは、市民をまき込んでいくよいアイデアだと思います。
- ・木下街道と木下駅、及び市役所を結ぶ拠点であり、又近くに高齢者介護施設もあり、年間を通じて美しい水辺の憩いの場を、維持管理し続けることは大切であると思う。又、周辺地域を巻き込む年間のイベントも適切であると思う。
- ・四季の花の整備、水辺の憩いの場として市民が楽しめる場所として定着してきていると思う。みなさまの努力のおかげだと思います。これからも頑張ってください。ありがとうございます。
- ・新たな事業も考えられていて、ますますの活性化がみうけられます。楽しめる方も増えることでしょう。これからもよろしくお願い致します。
- ・流入土砂や遊歩道補修問題等の課題はあるものの、協働事業として問題はないと考えます。今後の展望としてコスモスふれあいまつり等の継続的な開催により着実に認知度とファンをふやす事が更なる発展につながると思います。がんばってください。

ボランティア、メンバーの確保を！

- ・歴史のある NPO では会員の高齢化が問題となっています。提案者負担の無償労働力確保を今後どう考えていくのか。事業継続のために、若いボランティアをひきつけるイベント、広報活動をして仕掛けをお考え下さい。

事業の広報、情報発信を

- ・口頭で質問しましたがイベント時のリスク管理についてはくれぐれもよろしくお願いいたします。
- ・Web、とくにソーシャルメディアを使った情報発信が増えると良いです。素敵な写真をシェアしましょう。
- ・維持管理の他に、そこを使ったイベント事業等、協働事業としての価値といえるのではないかと。調整池をみんなの広場としてこのように活用できることを、市外にも伝えていただきたい。

蓮の育成は

- ・3年か4年に一度蓮の植替をしなければ、花が咲かなくなるとのことですが、その対策は。
- ・蓮が一つの目玉であるのなら、蓮の育成に必要な推移は20cmとされる。これは、将来的に大丈夫なのか。